平成１８年度 伊丹市行政評価　～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから５年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	130201

事務事業名	鉄道駅舎バリアフリー化推進事業	担当部局・課	健康福祉部 障害福祉課
事業内容	交通バリアフリー法に基づき交通事業者がエレベータ設置、スロープの設置等を整備する事業に対して補助を実施する。	事業開始(予定)年度	平成14年度
		事業終了(予定)年度	平成18年度

この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現
		項目	きめ細かな地域福祉の推進
		施策	福祉のまちづくりの推進

⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年（H18～22年度）に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。
行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。

評価結果	A
	上位施策に対する貢献度は高く、現行のまま継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。

事業の目的	障害者や高齢者の方などすべての人が、鉄道駅舎を容易に利用できるために、エレベータの設置やスロープの設置等のバリアフリー化を行う。	予算費目（複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。）	（款） 民生費 （項） 社会福祉費　（事項） 地域福祉対策費 （目） 社会福祉総務費

事業費等の概算	平成17年度（決算）			平成18年度（予算）		
事業費	6,683千円	財源内訳		事業費	27,789千円	財源内訳	
		国・県補助金等	－			国・県補助金等	－
		市　　債	－			市　　債	－
		その他（使用料等）	－			その他（使用料等）	－
		一般財源（市税等）	6,683千円			一般財源（市税等）	27,789千円
投入人員	0.23人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次の様になります。=担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)		投入人員	0.23人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次の様になります。=担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)	
人件費	1,970千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。		人件費	1,970千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。	
経費合計	8,653千円			経費合計	29,759千円		

活動指標	指標名（単位）	市内鉄道駅舎のバリアフリー化率（%）
	意味・算式等	市内全鉄道駅舎に対するバリアフリー化されている鉄道駅舎の割合

計画と実績	年度／区分	H17年度	H18年度
	計画値	60	100
	実績値	60	